



☆夏を前に今考えるべきことは

7月になり、学校再開から約一ヶ月半が経過しました。まだまだ新型コロナウイルス感染拡大に関しては、十分な注意と新しい生活様式の継続が必要とされますが、皆さんにはようやく通常の学校生活が戻ってきたように感じられます。

定期考査Ⅰが終了して本日から三者面談が始まります。3年生はいよいよ進路決定の正念場。受験する企業や学校を決定し、選考試験に向けて本格的に勝負をかける時期です。1・2年生も、文理選択やコース選択など進路実現に向けた重要な決定をする時期が近づいてきます。担任の先生から提示される資料を基に自己の現状を正しく認識し、進路実現に向けてしっかり取り組んでください。

そして、8月1日からは夏休みが始まります。今年は例年に比べてとても短い夏休みとなりますが、どの学年においてもこの夏休みを有意義に過ごしてほしいと思います。夏休みは学校の授業から離れ、自分自身に足りない勉強や必要な勉強ができる期間です。この期間の過ごし方で今後の高校生活が左右されると言っても過言ではありません。

《模擬試験を活用しよう》 ～学習成果の確認と振り返りを～

6月20日(土)に3年生対象の各種模擬試験が行われました。また、本日は1・2年生対象の進研模試が行われます。その結果から、①学習内容がどのくらい身に付いているか？ ②弱点はどこか？ ③自分の学力は全国レベルではどうなのか？ ④目標校のボーダーラインはどのくらいか？ など客観的な情報が得られます。校内の定期テストでは測れない真の実力がわかり、目標校の志望者数や学力分布、年度による難易度の変化など、浪人生を含めた全国の受験生の動向に関しても情報が得られます。対策と復習をしっかりと行い、結果を今後の学習に十分に活かして、学力向上と進路目標の達成につなげてください。

「試験終了後には」・・・ 自己採点し、必ず復習をする

自己採点をして、間違えた問題を中心に「解答解説」で一つ一つ確認し復習をしておきましょう。

1週間くらいの時間をかけて徹底的に復習をし、次に同じ傾向の問題が出たら必ず正答できるように仕上げておくことです。また、数学など別解の研究が学力向上に有効な教科もあります。教科書以上に詳しい解答解説を100%使いこなしてください。なお、復習が効果的であることは、どの成績層の人についても言えます。問題冊子と解答解説は「合格ライン」とともにファイルし、入試直前期にも活用できるようにしておきましょう。

「成績表が返されたら」・・・ 弱点分析と成績（得点・偏差値）の推移を確認

偏差値や志望校の可否判定に一喜一憂し、他はあまり見ていない人が多いようです。まず、科目ごとの成績の推移を見てください。次に科目間のバランス、科目毎の分野別正答状況を確認します。全国平均と比べて判断しましょう。自分の学力の構造や問題点、課題がよくわかります。この部分をしっかりと分析し、寸評や採点講評も参考にして今後の学習の指針としてください。なお、ケアレスミスや計算ミスなど、どの部分で減点されているか（失点の原因）、自己採点と実際の点数の開きはどうか（自己採点の正確さ）など、自分の弱点やクセも読み取ってください。

☆ 夏休みを有意義に過ごそう ～夏休みを有意義にするポイント～

(1) **夏休みの日課表を作成しよう**・・・課外や部活動などの予定をもとに夏休みの日課表を作成しましょう。夏休みも生活リズムを一定に保つことが大切です。毎日同じくらいの学習量を確保できるように、学習開始時間を決めておきましょう。

(2) **夏休みの学習計画を立てよう**・・・課題や自分の弱点を克服するための学習計画を立てましょう。事前にしっかりと計画を立てておくことが夏休みにスムーズに学習を始めるためのポイントです。なお、3年生は休み中に400時間の学習時間を確保し、1、2年生は部活動と学習の両立を徹底して秋以降の成績向上に繋げてください。

①無理のない計画を立てる

学習内容を確実に理解するためにも無理のない計画を立てましょう。週に1日「予備日」を設けるなど、予定通りに進まなかった場合に備えて計画の遅れを取り戻すための時間を用意しておくことも大切です。

②学校の課題を最優先に取り組む

まずは、夏休みの課題を確実に終わらせることを最優先にしましょう。夏休みの課題には、7月までの学習のポイントが多く含まれているので、課題にしっかり取り組むことで復習もできます。

③苦手分野の復習に取り組む

時間がある夏休みは、苦手分野を克服するチャンスです。苦手だと思うところがある人は、この夏休みに復習に取り組んでみましょう。

④応用問題や入試レベルの問題に取り組む

時間のある夏休みに模擬試験や入試に対応できるよう、教科書や問題集の発展問題にじっくりと取り組みましょう。また3年生は志望校の、1、2年生はセンター試験の過去問を解き、現時点での実力を知り1科目あたり60分～120分という長い試験時間にも慣れましょう。

3年生の推薦入試出願希望者は、小論文対策を本格的に始めましょう。新聞の「社説」や専門書を読み込み専門的な知識を身につけ、志望大学過去問を調べ、各々のテーマについて1日1本のペースで書き、登校して先生の指導を受けましょう。

⑤毎日の学習記録をつける

一日何時間学習したか、計画通りに取り組めたかを毎日振り返り、記録するようにしましょう。Classiを活用し、毎日を振り返ることで、すぐに軌道修正を行うこともできます。

(3)**進路について考えよう**・・・時間がある夏休みは、進路についてじっくりと考えるよい機会です。まだ進路の方向性を決めていない人は、この夏休みに本やインターネットなどを活用している人と調べましょう。また、夏休みには多くの大学でオープンキャンパスが行われます。積極的に参加して進路選択の参考にしましょう。

また、進路を考える際には、自分の適性や興味・関心などを知っておく必要があります。家族や友達などの客観的な意見に耳を傾けることで、自分では気づいていない選択肢が見つかるかもしれません。

◇オープンキャンパスでの確認事項◇

- (1) 行きたい学部・学科や入りたい研究室はあるか。
- (2) 校風は合っているか。また、充実した学生生活が送れそうか。
- (3) 希望する資格が取れるか。また、就職支援や就職状況、卒業生の進路先はどうか。
- (4) 施設、設備が充実しているか。看護医療系では、実習先の病院はどこか。
- (5) 学費や生活費はどうか。特待制度や奨学金などの就学支援はあるか。
- (6) 入試の方式や科目、配点、出題傾向はどうか。自分の得意科目が活かせるか。